

職員アンケート集計結果

・令和8年2月実施

■ かなりできている
 ■ ほぼできている
 ■ あまりできていない
 ■ ほとんどできていない

設 問	回答結果 (全体における割合)					
1 「保育指針」「幼保連携型こども園教育・保育要領」を読み、日々の保育・教育に活かしている。	50%		50%			
2 乳幼児期の教育及び保育は、人格形成の基礎を培う重要なものであることを理解している。	65%		35%			
3 日常の情報のやり取りや登園時の園児の健康観察を行っている。	72%		28%			
4 園生活での活動・発達の状況や家庭での十分な睡眠や健康的な生活リズムが身につくよう保護者との連携に努めている。	47%		53%			
5 園児が活動しやすいように、その都度、保育室の換気や温度・湿度に配慮している。	68%		32%			
6 全ての保護者に対して親しみを込めた挨拶や会話を心掛けている。	67%		33%			
7 苦情や要望には、謙虚に話を聞いて対応している。	56%		44%			
8 連絡帳を通し保護者が内容を理解し、楽しみにするような書き方をしている。	44%		50%		6%	
9 トイレ・手洗い場・遊具・砂場等清潔に保っている。	30%		65%		5%	
10 園児の体調に応じ、食事の量を調整したり、食べ物を残したり偏食したりする時に過度に叱らないようにしたりしている。	43%		43%		5%	10%
11 その日の食事・おやつ量・食べ具合を保護者に知らせている。	60%		40%			
12 食物・その他のアレルギーが有る園児に対して、保護者・専門医と連携して除去食を取り入れる等配慮している。	64%		36%			
13 離乳食やトイレトレーニングについて、家庭と連携を取りながら一人ひとりの園児の状況に配慮している。	55%		45%			
14 言葉にならない思いや片言にゆったりと優しく応えたり、ふれあい遊びを行ったりしている。	50%		50%			
15 おむつ交換時、優しく声をかけスキンシップを行っている。	53%		47%			

■ かなりできている
 ■ ほぼできている
 ■ あまりできていない
 ■ ほとんどできていない

設 問		回答結果 (全体における割合)				
16	事故予防・午睡時チェック・(SIDS)に努めた保育を心掛けている。	43%		57%		
17	個別計画・サポートファイルを作成し、職員間や小学校との連携を図り当該園児の成長に繋がるようチームで協力している。	50%		25%	25%	
18	特別支援教育の研修に自ら進んで参加している。	56%		44%		
19	療育、医療機関等の専門機関から、園児の支援について必要に応じ助言を受けている。	25%	38%		38%	
20	支援を必要とする園児の保護者と話し合う場を日常的に設け、信頼されるよう努めている。	22%	56%		22%	
21	支援を必要とする園児と他の園児同士が繋がりを深められるよう配慮をしながら保育・教育をしている。	27%	64%		9%	
22	保育教諭は遊びのスペシャリストになっている。	5%	74%		21%	
23	毎日の活動の中で数や量・標識等にふれる機会を作っている。	22%	61%		17%	
24	正しい言葉づかいや声の大きさに配慮して園児に話しかけている。	38%		57%	5%	
25	水、雪、砂、土、紙、動植物など自然の素材やものに触れて楽しむ機会を多く取り入れ保育・教育している。	33%	56%		11%	
26	保育教諭の言動の一つ一つを、園児はモデルとして学んでいることを知り、意識しながら保育・教育をしている。	45%		50%	5%	
27	人の話をじっくり聞き、その内容を理解することの大切さを園児に伝えている。	60%		35%	5%	
28	心を動かすような出来ごとにふれ、豊かなイメージをもてるような機会を作っている。	15%	70%		15%	
29	子どもの発達とは、豊かな心情、意欲、態度を身に付け、新たな能力を獲得していく過程である事を理解している。	50%		50%		
30	園児が興味や関心を示し、主体的に関わる環境を用意することに努めている。	21%	58%		21%	
31	園外保育や公共施設での活動を取り入れ、地域に興味を持てるように取り組んでいる。	6%	50%		31%	13%
32	地域の人に親しみがもてるような関りや、園の周りの環境を活かした保育・教育を取り入れられた。	13%	38%		44%	6%

■ かなりできている
 ■ ほぼできている
 ■ あまりできていない
 ■ ほとんどできていない

設 問		回答結果 (全体における割合)			
33	地域の伝統的な行事や遊びを取り入れた保育・教育を行っている。	25%	31%	25%	19%
34	子育て広場に来た子や他の年齢の子とふれあったり遊ぶ機会を持ったりするなど、様々な子と関われる工夫をした。	35%	29%	35%	
35	就学する学校や他の教育機関に親しみが持てるような機会を設け、連携が図れた。	15%	15%	38%	31%
36	同僚を尊重し、0歳児から6歳児をチームで子育て支援している感覚が持っている。	30%	60%	10%	
37	休んだ日の出来事や連絡・注意事項は自分から記録を読み、分からない事は尋ねるようにしている。	80%	15%	5%	
38	報告、連絡、相談は気軽に誰にでも出来ている。	48%	52%		
39	園の理念や目指す保育・教育の目標に向けて互いに協力出来ている。	25%	70%	5%	
40	不審者が園内に侵入した際、どのように対応するのかを理解している。	11%	74%	16%	
41	避難訓に積極的に参加し、非常災害時に自分自身が何をすればよいのか理解している。	50%	45%	5%	
42	保育室内外の安全な環境づくりを意識している。	40%	50%	10%	
43	遊具・玩具・砂場等の点検や消毒を定期的に行っている。	28%	39%	33%	
44	園児の体調・怪我・感染症の対応については保護者が安心できるような伝え方をしている。	33%	61%	6%	